



市議会議長  
行木 三郎

# 本年も よろしくお願ひ申し上げます

市民の皆様には、お健やかに平成22年の輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃から市議会活動にあたたかいご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

議会の使命は、政策の最終決定、行財政運営等の評価、批判監視と言われておりますが、更に議会から政策提言ができるまでに資質を高められるかが課題となっております。

山武市議会も24名の議員が一丸となつて議会改革を進めながら、議会の役割と責任を果たすべく頑張つてまいりますので、なにとぞ本年もよろしくお力添え、ご指導をいただきますようお願い申し上げます。

さて、我が国では、政権交代

がされ政治や社会の仕組みが変わろうとしています。

新政権のもと、予算の見直しや事業の廃止など地方への大きな影響が懸念される状況にあります。高齢者が不安に感じている年金や医療・介護など社会保障制度、子育て・教育支援策などの面で先行きの不安感を取り除き、希望が持てる社会へと変わっていくことを期待したいと思います。

地方行財政の運営に当たっては、地方分権改革の推進に伴い、自己決定・自己責任のもと、財政健全化が必要となっております。

本市は今、大変厳しい財政運営の中、成東病院や地域福祉施策の充実・教育環境の整備等々、難しい行政課題が山積しております。

現在は、市民目線での政策立案、実行過程における市民参加等、市民自らまちづくりに対する意識と問題解決に向けた議論に参加する事が重要となっております。

どうか、これからの市政、市議会にこれまで以上に関心を持っていただき、皆様が積極的に参加し、ご意見などを寄せていただきますようお願い申し上げます。

年の初めに当たり、市民の皆様のご健勝とご活躍を心から祈念いたしまして、ご挨拶と致します。